

市民参加で都市計画マスタープランの改定をしています

地域の皆様からの意見を参考に都市計画マスタープランを改定していくために、地域団体や公募市民、大学教授などの学識経験者により構成される「清瀬市都市計画マスタープラン見直し検討委員会」を組織して、検討を進めています。

委員の方々の専門的な知識や生活している中で感じるご意見など、委員会では多くの意見が交わされています。平成 31（2019）年度でも見直し検討委員会を継続し、都市計画マスタープランの改定に向けてご意見をいただきながら計画案を取りまとめていきます。



委員会の様子



現地調査の様子

市民ワークショップの開催

～市民のみなさんが考える 20 年後のまちづくりについて～

平成 30（2018）年度に市民ワークショップを開催し、市民の皆様からいただいた意見を基にまち歩きを実施します。まち歩きを通して、新たな発見をしながら、未来の清瀬がよりよくなるようなまちづくりプロジェクトと一緒に考えてみませんか。

- ◆対象者：市内在住、在勤、在学の方
(保育も用意していますので、是非ご参加ください。)
- ◆申込方法：①まちづくり課（042-492-5111）へ電話
または窓口で直接申込み
②参加申込みフォームから申込み
(「清瀬まち歩き」で検索できます。)
- ◆申し込みの締切：各開催日の1週間前まで
- ◆各回雨天決行、台風等中止
- ◆持ち物：カメラ、帽子、飲み物（第1回、第2回のみ）



	日時	テーマ
第1回	2019/4/20 (土) 9:30～12:00	「緑や自然を生かした取り組みを考えよう」(まちあるき+ワークショップ) ◆予定ルート 市役所正面玄関(集合)→台田の杜→柳瀬川→金山緑地公園→市役所(解散)
第2回	2019/5/12 (日) 9:30～12:00	「まちのにぎわいづくりを考えよう」(まちあるき+ワークショップ) ◆予定ルート 生涯学習センター(集合)→南口商店街→清瀬松山緑地保全地域→中央公園 →生涯学習センター(解散)
第3回	2019/5/25 (土) 9:30～12:00	「プロジェクトをつくろう」(※ワークショップのみ) ◆会場 健康センター(市役所隣の建物) 2階会議室

◆発行(問い合わせ先): 清瀬市 都市整備部 まちづくり課
〒204-8511 東京都清瀬市中里 5-842
電話番号 : 代表 042-492-5111 内線 (363)

清瀬市 まちづくりニュース

平成 31 年 3 月発行

市民のみなさんと本市の 20 年間のまちづくりの方針となる計画づくりを進めています

都市計画マスタープランの改定

平成 30（2018）年 11 月～12 月に、本市の都市計画マスタープランの改定に向けての市民ワークショップが開催されました。

平成 13（2001）年に都市計画マスタープランを策定してから 20 年が経過し、その間に少子高齢化や人口減少といった社会環境が変化する一方、農地の減少や新たな都市計画道路の整備など、市内の状況も変わりつつあります。

こうした変化に対応するため、平成 32（2020）年 3 月を目標に、都市計画マスタープランを改定するべく検討を進める中で、平成 31（2019）年度にかけても市民のみなさんと本市のまちづくりについて考えていきます。



市民ワークショップの様子

都市計画マスタープランとは？

快適な住環境をつくっていくために、本市の将来の姿やまちづくりの方向性を明らかにするもので、市民・事業者・行政が共有するまちづくりの指針となるものです。

主な役割として、土地利用を適切に規制・誘導し、道路や公園などの整備にあたっての基本的な方針を定めます。

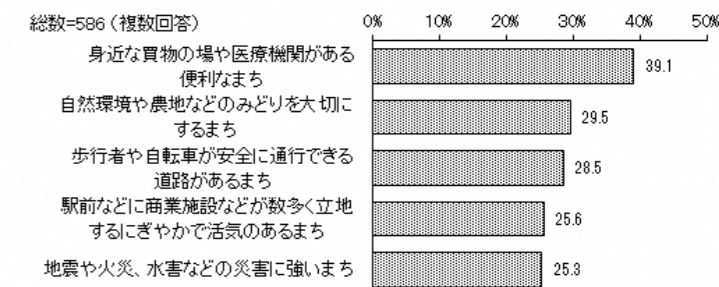
今回の改定は、2020 年から 2040 年の 20 年間の都市計画マスタープランとなります。



現在の清瀬市都市計画マスタープラン

市民アンケート調査の実施

平成 30 年（9～10 月）に 2,000 人を対象に市民アンケート調査を実施しました。現在進めているまちづくりへの評価と将来のまちのあるべき姿などについて市民の皆様の声を把握し、都市計画マスタープランの改定に参考にさせていただきます。



グラフ：本市が目指すべきまちの姿

市民ワークショップで、本市の20年後の目指すまちの姿を考えました

清瀬市に住み・働き・活動している人が、まちの好きなところ、困っていること、良くしたいことなどについて、気軽に話し合える場として市民ワークショップを開催しました。学生から年配の方々まで、グループを作りテーブルを囲んで本市の20年後に目指すまちの姿について話し合いました。この頁では、市民ワークショップの様子と参加者が考えたご意見やアイデアの一部をご紹介します。

＜ワークショップで意見交換したテーマ＞

	日時	テーマ
第1回	2018/11/11 (日)	清瀬市のまちのいいところ、課題について考えよう！
第2回	2018/11/25 (日)	清瀬市のまちの将来のあり方について考えよう！
第3回	2018/12/ 9 (日)	まちづくりの取組について考えよう！

＜清瀬市の良いところ、改善すべきところ＞

◆清瀬市の良いところ

- ・畑が多く、農家の直売所が多い
- ・自然が多く、四季を感じられる
- ・緑地・公園・広場が充実
- ・駅前にも個性的な飲食店が多い
- ・駅から近いところに農地がある
- ・病院や大学が多い
- ・地盤が固い
- ・人が温かい
- ・昔からのお祭りが盛ん など

◇清瀬市の改善すべきところ

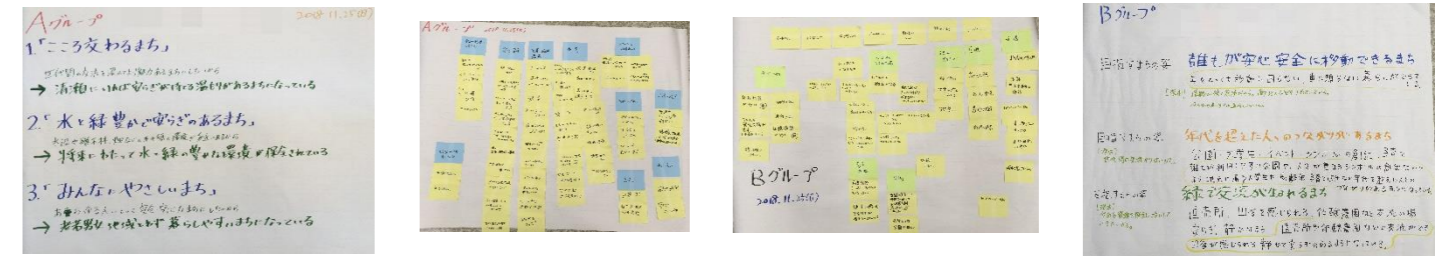
- ・街路樹の維持管理をどうするか
- ・道路が狭い箇所がある
- ・公園はあるが規模が小さい
- ・駅前のにぎわいをつくりたい
- ・空き家が増えている
- ・バリアフリー対応できていない場所がある
- ・自転車を走らせづらい など

清瀬市の地図を囲んで、意見・アイデアを出し合いました（写真下）。また、グループごとにとりまとめて、発表を行いました（写真右）。



＜市民ワークショップで提案された「清瀬市の20年後のまちの将来像」＞

グループごとに意見を模造紙にまとめました（写真下）。 ●内容：①目指すまちの姿をどのような想いで考えたのか？
②目指すまちが実現することで市民の暮らしがどのように変わるのか？



	目指すまちの姿	内容
1	こころ交わるまち	①世代間の交流を深めてより魅力的なまちにしたいから ②清瀬にいれば安らぎが持てる温もりあるまちになっている
2	水と緑豊かで安らぎのあるまち	①水辺や雑木林、畑などの水や緑の環境が身近にあるから ②将来にわたって水と緑の豊かな環境が保全されている
3	緑で交流が生まれるまち	①今ある資源を保全し、活かしていきたいから ②直売所や体験農園などで交流ができ、四季が感じられる静かで安らぎのあるまちになっている
4	誰もが安心して移動できるまち	①道路が狭く危険だから。南北が分断されているから。ベビーカーや車椅子では通行しづらいから ②年をとっても移動に困らない、車に頼らない暮らしができています

＜参加者の感想＞

市民ワークショップに参加した方々から様々なご意見をいただきました。平成31(2019)年度も引き続き、市民の皆様と一緒に検討していきます。

皆さんが清瀬に愛情を持って住まれていることが印象的でした。不満より満足が多く、より良く考えられていることが伝わってきました。(40代女性)

若い人の参加で普段気が付かない意見があり有意義だった。(70歳以上男性)

様々な意見が聞けて、とても価値のある時間でした。(20代男性)

和やかで楽しかったです。(40代女性)

清瀬の良さを再認識できたことが印象的でした。もっと人が集まるといい。(40代女性)

勉強になることがたくさんありました。ありがとうございました。(20代女性)

想いは同じ！が印象的でした。現状をふまえ、未来の清瀬を感じました。大変有意義でした！(50代男性)



平成31年度はまち歩きを実施する予定です詳しくは4ページをご確認ください